

第1回金谷小学校保護者説明会会議録

1. 日時 平成29年1月23日（月）19：00開始

2. 会場 金谷コミュニティセンター

3. 教育部参加者

能城教育部長、今井学校教育課長、鶴岡教育総務課長、竹谷教育センター所長、
須藤学校教育課主幹、鈴木教育センター主幹、三浦学校教育課指導主事、
刈込教育総務課課長補佐

4. 保護者参加者 28名

5. 会議録

進行：鈴木教育センター主幹

発言者	発言内容
	1 開会の言葉
	2 出席者紹介
能城部長	3 教育委員会あいさつ
須藤主幹	4 「富津市小・中学校再配置計画（案）」についての説明
保護者	5 質疑 望ましい学級数（P5）の根拠は。
今井課長	文部科学省が示したものである。
保護者	35人学級の報道があったが、1学級の人数が少なくなっている。なぜなのか。
今井課長	低学年は40人を1人の学級担任で見るのは厳しいと文科省は考えている。
保護者	文科省は少ない人数の方が教育しやすいと考えているのか。
今井課長	ある一定の規模が必要と考えている。
保護者	中学校と小学校は分けて考えてほしい。中学校は人数が多い方がよい。小学校は少ない方がよい。
今井課長	場面によって人数が変えられるのがよい。個に応じたものに対応する場合は少人数、グループ学習や行事など活動や話し合いの場面では、ある程度の人数が必要。教師対子どもだけでなく、子ども同士で課題を解決して

	いくことも大切である。
保護者	金谷小は色々な経験をしている。人数が必要なときは、合同行事、授業、体育を行えばよいのでは。
今井課長	以前は各学校で、水泳、バスケットなど競い合う場面があった。今は競い合う人数の確保ができなくなっている。競技は陸上や体操など個人競技が多く、団体競技で競い合うことが難しくなっている。
保護者	人数は少ないが、学校代表として陸上等経験ができることはよい。
今井課長	確かに、経験できることはよい。
保護者	統合した場合も子どもは減る。環小も複式になっていくことが予想できる。市として人口減少への対応はどう検討しているのか。
能城部長	2040年には人口が3万人になることを見込んで、総合戦略を立てて臨んでいる。子育て支援課では、第3子以降の保育料無料化など、少子化に歯止めをかけることを検討している。
保護者	少子化を止めるなら、小学校がある方がよい。統合していくと学校が消滅してしまう。
保護者	統合すると、スクールバスを使用すると思うが、津波が起きたらどう責任をとるのか。金谷なら子どもたちは土地勘があるので、逃げられる。運転手が逃げてしまったらどうするのか。そういうことを考えてからの計画ではないのか。
今井課長	この件については、持ち帰って検討する。
保護者	スクールバスで登下校に1時間かかるのは時間がもったいない。この時間で色々なことができるのでは。
保護者	統合するとバスで帰ってくる。親が送れない子どもは家で1人で遊ぶことになる。そういう子どもが増えるのでは。
保護者	竹岡路線と金谷路線が別か。
須藤主幹	別で考えている。
保護者	低学年と高学年では帰る時間が違うがバスはどうなっているのか。
須藤主幹	2本バスが出るイメージである。
保護者	低学年の子が先に帰ってくると1人で待つことになり心配である。

須藤主幹	学校で兄弟を待つなど柔軟に対応していく。
保護者	小学生はまだ小さいので、家の近くで学ぶことがよいと思う。中学生は競い合うことが必要である。金谷に魅力的な思いを寄せてきた人もいる。地域のコミュニティーの核となる場がなくなることと考えてほしい。小さいときは体調も安定しない。具合が悪くなったときに、スクールバスでは対応ができない。小学生は、家の近くで勉強することがよいと思う。
保護者	今ここにいる人たちは、統合するとなると別のところに行くといっている。これからは年寄りが送迎することになるが、事故になったらどうするのか。金谷に竹岡とかが来ればよいと思う。金谷は活性化できる地域であり、人がいて初めて学校が成り立つ。人がいなくなったら、年寄りしかいなくなる。その点も考えてほしい。集めて教育することはマイナス面が多い。他の学校はあいさつもできない。金谷小は優秀である。市長も県議も出ている。そういう点も考えてほしい。
保護者	小学校と中学校は分けて考えてもらいたい。
今井課長	今回計画（案）を説明したが、意見をお聞きして子どもさんをどのように育てたいかなどを考えながら、改めて協議させてもらおうと考えている。
保護者	統合して良いことがあるのもわかる。でも、地元の小学校がよいと私は思っている。結論を3、4年で決めるのは早い。地域の方と相談しながら、進めてもらいたい。
今井課長	学校が各地区からなくなり、寂しいと思うのは理解できる。だが、人が少なくなってきていることで、もっと早くやってほしいという意見もある。皆さんの生の声を聞くことが大切だと考えている。
保護者	中学校の統合はよいと思う。小学校は、一人一人を認めしっかり学力を身につけることが大切であると思う。
保護者	君津から金谷に来て保育園に通わせている。小さな学校はアレルギーの対応もしてくれる。大きい学校でそれが可能なのか。健康な子どもばかりではない。もし何かあったとき、薬を誰が届けるのか。年寄りが届けたとき、事故が心配である。近くなら、災害があったときに迎えに行けばよい。金谷だったらそれができる。地域の人が気軽に声をかけてくれる。ここに若い人たちが住めるようにしてほしい。
保護者	スクールカウンセラーの利用は統合された小学校が多いのか。
今井課長	統合前に、定期的にそれぞれの小学校でカウンセリングを実施していく。
保護者	統合した小学校の子どもに悩みはないのか。

今井課長	全くないということはない。今も、金谷小や湊小の子ども達は、鋸山に登ったりなどの交流学习を行っている。交流学习を事前に行い、不安を解消できるようにしていく。
保護者	それは、色々な経験ができるのでよいと思う。
保護者	資料にメリット、デメリットが載っているが、メリットになることはほとんどやってほしい。
保護者	アンケートは小学校と保育園があると思うが、保育園はこれから入学するということで答えればよいのか。小さい子どもの親の意見も聞いてほしい。
保護者	地域の崩壊にもつながるので、地域の人とも相談してほしい。
保護者	人が住んで生活できるのは、小学校があるからだと思う。子どもも大人も金谷が好きで、誇らしく思っている。金谷を選んで来てくれている人もいる。個々で子育てをしたいという流れがある地域を止めないでほしい。
保護者	金谷小は全員がリーダーになれる。30人、40人いると自然とリーダーがきまり、その他大勢のまま終わってしまう子もいる。リーダーの経験は将来役に立つと思う。
保護者	千葉市から、子どもが金谷がよいと言っているので来た。子どもの気持ちも考えてほしい。
保護者	統合するまで何かやるのか。港区の子どもはタワーマンションに住んでいる。東京と金谷で交流をしたら、希望が出てくるかもしれない。そういう対策もとってほしい。
今井課長	他の都道府県との交流は教育委員会主催で行ったことはない。どういう教育を進めていきたいのかを考えたとき、教育課程に入れていくものだと思うので参考にしていく。
保護者	意見がまとまらないし、考えられない。これからもこのような場を設定する予定はあるか。
今井課長	何度か設定していく。
保護者	ここから移住する人が出てきたら、教育委員会で止めてもらえるのか。
今井課長	より多くの方が納得してもらえよう、意見を聞いていく。金谷小がなくなったらやっていけないという意見が多いときは、考えていく。
保護者	地区毎の話し合いは今後予定しているか。

今井課長	今後各地区で実施していく。
保護者	君津はどんどん決められている。富津はそういうことはやめてほしい。
保護者	金谷が一番遠い。湊はよいと言っても金谷は大変である。他の地区で説明会は行ったのか。
今井課長	金谷の説明会が始めてである。
保護者	湊から金谷まで行くのは大変である。パーセントではなく、金谷の意見をよく聞いてほしい。
今井課長	全体の中の総論として賛成、反対ということはしない。各学校の意見を吸い上げていく。
保護者	働く母親が働きやすい環境を作ってほしい。
保護者	だいたい反対である。アンケート1枚で声が届くのか。
今井課長	1/27の意見として声は届く。
保護者	子どもたちにもアンケートを行うのか。
今井課長	今のところは聞く予定はない。義務教育なので保護者の意見を聞いていく。
保護者	今保護者といったが、一人の人間として子どもの意見もしっかり聞いてほしい。
	6. 閉会の言葉